



男女共同参画推進委員会

# ニュースレター

No.15

令和元年9月発行



## ごあいさつ



兵庫県医師会理事  
小野一広

医学部に入学する女性の割合が40%となり、女性医師の勤務する施設でも、働きやすくするためのソフト、ハード両面での整備が徐々に進んでいます。しかし、上司や同僚に気兼ねなく制度を利用することが出来なければ、絵に描いた餅になりかねません。

「お互い様」と言えるような職場の雰囲気作りが必要です。そのためにはイクボスの活躍が期待されます。子育てや介護の問題は自分一人で背負い込むことではなく、職場の共感や理解を得て取り組むべきことでしょう。若い世代がキャリアアップを継続しながら子育てが出来る様な職場環境の整備が、そこに働く人たちの表情を明るくし、ひいては医療施設の雰囲気の改善、患者さんからの高評価につながればこんなに良いことはありません。

各施設にイクボスが育ってくるような状況になることを願っています。

## 女性医師の会入会案内

名称は「女性医師の会」ですが、男性医師の入会も歓迎致します。女性医師が働きやすい環境とは男性医師にとっても働きやすい環境でなくてはなりません。一緒に考えていきませんか。入会を希望される方は入会申込書を県医師会ホームページに掲載していますので、必要事項をご記入の上 FAX (078-231-8111) またはメール (w-entry@hyogo.med.or.jp) でご送信下さい。

★女性医師の会の年会費は無料です★

## イクボス大賞

兵庫県医師会では、男女とも仕事と生活の両立を達成できるよう、部下のワークライフバランスとキャリアの継続に配慮し、良好な職場環境の構築に貢献している上司、管理職をイクボスと呼

び、7月20日に第2回イクボス大賞の表彰を行いました。

### ★イクボス大賞

姫路赤十字病院 院長 佐藤四三先生

#### <選考理由>

自ら率先してスタッフの声に耳を傾け、職員が育児や介護などで辞めることなくキャリアを積んでいける、多様性のある職場環境を整備するなどワーク・ライフ・マネジメントに努め、働きたい病院造りに貢献されている。

#### <受賞の言葉>

2019年度兵庫県医師会イクボス大賞を受賞できましたこと、職員一同にとり大変な喜びであり、嬉しく思っています。空地医師会会長はじめ医師会の皆様方に心からお礼申し上げます。わたしたちの病院の取り組みを評価してくださいましたことに感謝いたします。

院長就任時より『働きたい・治療を受けたい病院造り』を病院の事業目標にして病院運営を行っています。『働きたい病院造り』の一環として、就労環境を整備することは、大きなウエイトを占めており、ここに病院トップマネージャーのリーダーシップが求められます。環境整備により職員が働くことに満足し、自院に誇りを持ち、診療にあたる事が出来れば質の高い医療提供、優秀な人材確保に繋がります。このコンセプトに基づき病院文化形成とともに、相談窓口の充実、時短・産休・育休制度の利用、院内保育・病児保育の充実等により、男性女性を問わず医師の増員、看護師の増員を図ることが出来ました。この4月より働き方改革がスタートしました。今回の受賞を機に環境整備に一層励みたいと考えます。

### ★イクボス特別奨励賞

兵庫医科大学 内科学 糖尿病・内分泌・代謝科 医局長 庄司拓仁先生

#### <選考理由>

内科の中でも女性医師の割合が高い医局長として医局内での雰囲気作りに配慮され、育休明けの職場復帰や産休入りする医局員への支援に尽力されるとともに、自ら育児に率先して関わるなどワークライフバランスを実践されている。

#### <受賞の言葉>

兵庫県医師会イクボス奨励賞の受賞を心から嬉



しく思うとともに、推薦して下さった難波光義先生をはじめ、兵庫県医師会の先生方に御礼申し上げます。

昨今、女性医師活躍と共に働き方改革が取り沙汰されています。女性医師が働きやすい環境とは？性別や年齢、婚姻状況を問わず、育児・介護・自身の病気等を抱えていても、誰にとっても働きやすい環境であり、制度整備だけでなく働く側全体の意識の変化がないと実効性を伴わなくなります。

私が働きやすさを意識し出したのは比較的最近、自身が育児に悪戦苦闘する中間管理職になってからです。短い睡眠時間でバリバリ働き家庭と仕事を両立する超人的医師もいますが、誰もがそうはなれません。普通の医師が過剰に頑張らずとも働き続けるには？他人事ではなくなりました。

すぐに答えは出ませんが、今自分ができることをする。お互い様と思い遣れる心の余裕や必要な休みは誰もが気兼ねなく申し出られる状況が重要と考え、医局の雰囲気作りを試行錯誤中です。



## 講演会等での託児サービス

県医師会・郡市区医師会が主催の講演会等では、託児ルームの場所代やシッターの委託料を日本医師会に全額補助して頂きます。開催者は託児希望の有無をご確認の上、県医師会または郡市区医師会に申請して下さい。育児中の医師が十分に研修を継続できるよう、ご協力宜しくお願い致します。

## 女性医師支援窓口

出産・育児・介護・復職・転職・再研修・勤務環境・その他悩み事をお持ちでしたら、県医師会の先輩医師がご相談にのります。ご相談内容の情報は相談事業以外には使用せず、個人情報保護は厳守させて頂きます。ホームページに案内と申込用紙を掲載していますので、お気軽にご相談下さい。

### ●相談受付

電話：078-231-4114月曜日と火曜日  
午前9：00～12：00

FAX：078-231-8111 随時受付

E-mail：josei-ishi@hyogo.med.or.jp 随時受付

面談：要予約

## 離・退職中の医師の再就業支援

離・退職されている医師で、復職を考えているがその前に再研修されたい方は、研修終了後は県

内の医療機関に勤務して頂くことを条件に、80時間の病院研修を無料で受けて頂けます。

## ベビーシッター費用の一部負担

子どもの急な発熱や時間外勤務でベビーシッターを利用された際は、その費用を一部負担致します。条件等詳しくは県医師会にお問合せ下さい。

## 病院訪問

研修医・勤務医が多数おられる病院を訪問し、情報提供と研修医・勤務医の現状把握・意見の収集に努めています。現在すでに18病院を訪問させて頂きました。今後ご協力お願い致します。

## 第13回兵庫県医師会男女共同参画フォーラム

令和元年7月20日兵庫県医師会館にて第13回兵庫県医師会男女共同参画フォーラムを開催致しました。

基調講演は「情けは人のためならず～産婦人科医が子育てと研修医教育から見てきたもの」の演題で福井県済生会病院 女性診療センター 産婦人科医長 里見裕之先生にご講演頂きました。

医師は性別に関わらず、子どもと同じように様々な能力や個性を持ち、それをお互い理解し尊重していくことが大切である。また研修医を育てていくことは育児と相通じるものがあり、認めてあげることが相手のモチベーションに通じる。そして、病院の就労環境を整備することが職員の離職防止・優秀な人材の確保に繋がり、良い医療の提供に繋がっていく。現在、働きやすい病院評価・認証を行うホスピレートがあるが、今後その評価は働きやすい病院ではなく働きたい病院となっていく。

詳しくは県医師会報に掲載致しますのでご一読下さい。  
(文責 相馬葉子)

## 兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

相馬 葉子 大江与喜子 大石麻利子 飯島 尋子  
宮本由紀子 木村 智子 若栄 徳彦 中村 陽子  
横田 光 林崎 緑 大内佐智子 小林 成美  
上月 清司 奥窪 明子 後藤 倫子 岡本 泰子

## 担当役員

松本 卓 橋本 彰則 難波 光義 宮地 千尋  
小野 一広 平林 弘久

〒651-8555

神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会内  
電話 078-231-4114 FAX 078-231-8111